

受付月日	No.	申込金受領	会場番号	講演番号

平成19年度大会講演会投稿票

1. 講演者の氏名・所属機関 (共同研究の場合は、代表発表者に○印をつけて下さい。氏名の順序は原稿と一致させて下さい。)

	代表発表者に 印	会員番号	氏名	フリガナ	所属(和)
				ローマ字(姓_名)	所属(英)
1	○		服部 雄太	ハットリ ユウタ HATTORI_YUTA	茨城大学農学部 College of Agriculture IBARAKI University
2			加藤 亮	カトウ タスク KATO_TASUKU	茨城大学農学部 College of Agriculture IBARAKI University
3			黒田 久雄	クロダ ヒサオ KORODA_HISAO	茨城大学農学部 College of Agriculture IBARAKI University
4			中曽根 英雄	ナカソネ ヒデオ NAKASONE_HIDEO	茨城大学農学部 College of Agriculture IBARAKI University
5					
6					
7					
8					

代表者の連絡先(住所) 〒 305-0821 茨城県つくば市春日4-10-13 ウイング208

(TEL) 090-2576-7186

(FAX) 023-888-8525

E-mail nobodyknows_6.13_since2003@docomo.ne.jp

Excelファイルの送信日:

2. 講演題目(題目および副題は、必ず本文と同じものを記入して下さい。)

(和文) 素掘り貯留池からの窒素負荷の長期的な流出傾向

(英文) The Long-term Discharge Tendency of Nitrogen Load from Unlined Storage Ponds

3. 講演希望部門 (第1希望部門と、第2希望部門を数字で記入して下さい。)

第1希望	10	第2希望	2
------	----	------	---

1. 水理 2. 水文・気象 3. 土壌物理 4. 土質力学 5. 応用力学 6. 材料・施工 7. 灌漑排水
8. 農地造成・整備・保全 9. 農村計画 10. 環境保全 11. 生態環境 12. 農業土木教育・農業情報

4. キーワード (上記の講演希望部門に関連したキーワードを1個以上、記入して下さい。)

1	ふん尿処理	2	排出率	3	土壌蓄積
---	-------	---	-----	---	------

5. 図表などの数

写真枚数	図枚数	表枚数	参考文献数
	2	1	2

6. 発表形態

2

1. 口頭発表 2. ポスター発表

7. プログラム編成上必要な場合、発表形態の変更に応じて頂けますか?

Y

- Y. 諾 N. 否

8. 講演の概要(200字) (必ず日本語で記入して下さい。)

素掘り貯留池からの窒素負荷の影響を調べるため、素掘り貯留池が行われていた地域の1992年、2002年、2006年の水質と流量、土地利用データを用いて年間発生負荷量と年間排出負荷量を求めた。そして、この対象地域を家畜ふん尿の処理形態の違いより3つの小集水域にわけて考察した。その結果、素掘り貯留池をやめて14年間経った今でも年間約100kgの窒素負荷の排出が起きていることがわかった。